

## 第 1 回宇治市交通バリアフリー推進連絡会の議事概要

日時：平成 20 年 1 月 29 日(火)

14:00 ~ 16:00

場所：宇治市議会棟 第 3 委員会室

### < 出席者 >

#### 【委員長】

大阪大学大学院 新田 保次

#### 【市民代表】

宇治市身体障害者福祉協議会	羽野 力
精神障害者家族会「茶の実」	大垣 芳久
宇治市連合喜老会	馬場 恒雄
宇治市社会福祉協議会	曾谷 武
宇治商工会議所	小林 寛明

#### 【公共交通事業者】

西日本旅客鉄道(株)京都支社	上出 和幹(代理)
近畿日本鉄道(株)	平田 勝己
京阪電気鉄道(株)	廣瀬 雅康
京阪宇治バス(株)	槻木 章

#### 【行政機関】

近畿運輸局 京都運輸支局	下畑 賢治
山城北土木事務所 道路計画室	仲久保 忠伴
宇治市 健康福祉部	田中 秀人
宇治市 建設部	三枝 政勝
宇治市 都市整備部	石井 章一

#### 【事務局】

都市整備部交通政策課	木村 邦夫
	静川 豊
	木田 健士
	永池 孝二

【1. 委嘱状交付】

宇治市副市長により、出席の委員に委嘱状を交付。

【2. 委員の紹介】

司会者により、宇治市交通バリアフリー推進連絡会委員(20名)の紹介。

【3. 開会あいさつ】

宇治市副市長により、開会のあいさつ。(内容省略)

【4. 宇治市交通バリアフリー推進連絡会の趣旨説明】

宇治市交通バリアフリー推進連絡会設置要項の確認

事務局により、「推進連絡会設置要項」(資料 - 1)の読み上げ。(内容省略)

委員長の選出

市民委員により、大阪大学大学院の新田委員が推薦され、承諾された。

副委員長の選出

新田委員長により、京都文教大学の森委員が指名された。

【5. 委員長あいさつ】

新田委員長により、委員長就任のあいさつ。(内容省略)

【6. 推進連絡会の情報公開について】

推進連絡会の一般傍聴及び連絡会資料や連絡会の議事概要の一般公開を委員の方に了承していただいた。

【7. 交通バリアフリーの経過について】

事務局により、「交通バリアフリーの経過」(資料 - 2)に基づき説明。(内容省略)

## 【8.今年度の取り組み】

### (1)重点整備地区の取り組み状況

事務局により、「今年度の取り組み状況1」(資料-3)に基づき説明。(内容省略)

#### 意見交換の概要

市民委員:歩道と車道の段差をできるだけなくしてほしい。カラー舗装等で区別し又ブロックやポールを立て車の進入を防いでいる。このような非常に通行しやすい構造にしてほしい。

事務局:国の基準では2cmの段差を設ける事になっています。車椅子やベビーカーを押される方には段差が極力少ないほうが安全に安心して歩けますが、目のご不自由な方にとっては、歩道だと分かるように少しでも段差がある方が安心できるということであり、宇治市ではこの基準に基づいて歩道と車道の境には2cm段差を設けるということで整備していこうと考えています。

市民委員:2cmくらいの段差が足の不自由な者にとっては、けつまづきやすい。法律や基準を重視されるより、実際に歩いたりして、車椅子の人がスムーズに移動できるようにしてほしいです。

委員長:このようなご意見を参考に、他都市も様々なやり方を実施しているので、スパイラルアップしてほしい。

市民委員:大久保駅周辺地区で近鉄大久保駅から南宇治コミセンへ行く経路が、横断歩道を多く渡らなければならないような選定になっているのはなぜか。

事務局:歩道と車道が分離できる構造を重視しました。しかし、委員の指摘の経路の方が近いし、横断の回数が少ないので、そちらを利用する方も多いため、昨年、下水工事にあわせて、側溝の改善と路肩のカラーにより、こちらの道路も少しでも安全に歩けるようにしました。

市民委員:大久保駅周辺地区で三軒屋川に蓋をして、城南高校(将来養護施設)への経路を確保することになっているが、なぜ、今することになったのか。

事務局:城南高校(将来養護施設)への経路としては、府道宇治淀線も考えられたが、現状では歩道拡幅整備は難しく、代わりになる経路を検討しました。

市民委員:その宇治淀線のことですが、歩道が狭く、しかも城南高校生の自転車が多い。大変危険な状態だ。

事務局:自転車のマナーアップということで、宇治市交通安全対策協議会により、城南高校で啓発活動を実施している。今後も実施していきます。

市民委員:精神障がい者は基本的に引きこもりが多く、外にでることが難しい。年に何度かイベントとして、JR宇治駅に集合し、塔の島へ行く。駅南側は交通量が多く、北側を引率している。今後バリアフリー事業でいろいろ改良される中で、引きこもりがちの者も安心して出かけられる要素も考えて欲しい。従来の事から考えると歩道も整備され嬉しく思っています。

委員長:重要なお指摘ありがとうございます。具体的に気づくことがありましたら、今後ご意見をください。

## (2) 宇治市域の取り組み状況

事務局により、「今年度の取り組み状況2」(資料 - 4)に基づき説明。(内容省略)

### 意見交換の概要

市民委員: 近鉄小倉駅前西側市道の点字ブロックがどのような経過で今の場所になったのか。日常的に放置自転車のある場所にわざわざしなくてもよかったのでは。

事務局: 地域にお住まいの目の不自由な方や視覚障害者協会の方と市役所で意見交換した後、現地で場所を決めました。

市民委員: 最近では放置自転車が少なくなり、道が広くなったのだが、雨天の時など、駅への送迎車が入るようになった。

事務局: この道は車輛の乗り入れ禁止区域であるので宇治署と連携して対処します。

市民委員: 宇治市内は、車いすの方とか弱者のバリアフリーが遅れていると思う。市内の大半は細い生活道路で、これらの交差点での事故が多く起きている。こういった交差点に横断歩道みたいな線を引いて欲しい。

委員 長: 細い道での交差点では、取り組み方がいろいろあり、色を変えたりハンプを設けたり、一方の道を遮断してしまうなどありますが、対策は地域より異なるので、地元から問題をあげ、一緒に考えていこうという盛り上がりがないと行政も警察も動きにくい。また通過交通があるところは対策が難しい。

事務局: ハンプなどの施工例として、羽戸山や南陵町で実施したのですが、車がおるたびに振動や騒音があるという苦情を受けたりもしています。様々な意見があり、関係部署と話をしていきたい。

市民委員: 様々な意見があるとは思いますが、音がなることにより、歩行者も気をつけるというメリットがあり、私は南陵町での取り組みを評価しています。弱者の視点が大切だと思う。

委員 長: 地域としていろいろな話をしていく必要があると思う。また、ハードの整備だけではなく、交通規制や違法駐車を取り締まりなど様々な取り組みをあわせて実施すべきで、横の連携が大切です。

## 【9. 今後の予定】

交通バリアフリーニュースの発行について

事務局により、「交通バリアフリーニュース案」(資料 - 5)に基づき、今後、推進連絡会からミニニュースの発行をすることを説明。

次回の開催予定

平成20年6月ごろに第2回を予定。

## 【10. 閉会あいさつ】

宇治市都市整備部長により、閉会のあいさつ。(内容省略)